

祝 2018 新成人 はたちの抱負



揮毫 伊藤茂男氏

鎌田地区	現在
平成30年1月1日	
世帯数	8,849 戸
男	9,937 人
女	9,489 人

発行所 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会



山田 正幸
井川城中区町会

私は現在二十歳ですが、まだ高校に通っています。中学を卒業して高校には行きましたが、いろいろあって退学してしまい、家族、アルバイト先には迷惑をかけました。



宮崎 友伽
笹部町会

私は専門学校に通い、看護師を目指して学んでいます。今までしてきた勉強とは大きく違って、専門的で難しい内容が多く、疲れや大変さを感じることもありますが、とても充実した日々を送っています。

私は小さい頃入院した経験があります。その時は毎日が不安で、よく泣いていました。そんな私に優しく接してくれた看護師の方がいて、私も彼女のようになりたいと思ったことがきっかけで、看護師を目指すようになりました。入院生活では、老若男女関係なく誰でも不安を感じると思いますが、将来は、そんな不

退学後すぐに同じ高校の夜間に入學しました。生徒が少なく、自分にはこの環境が合っていました。アルバイトも時間帯を変えてもらい、朝からアルバイト、夜は学校という生活が始まりました。学校は夜9時に終わり、帰り道は真っ暗でしたが友だちと一緒にいたので、ここまで頑張ってきたので、こ

安を少しでも軽減してあげられるよう、患者さん一人ひとりに寄り添える看護師になりたいです。残り一年の学生生活は、さまざまな病棟での実習があります。今までより忙しく大変なことも増えてくると思いますが、自分が学びたいことを学べているこの環境に感謝し、日々努力していきたいです。

た。去年、免許を取り学校に通うのが楽になりました。学校生活もあと少しで終わりです。卒業後は、アルバイト先に就職が決まり、今までの経験を活かしていきたいと思っています。仕事や社会人としての責任など大変なことが多くなるので、残りの学校生活は大切にしたいです。少し遠回りをしてしまいました。あつという間の4年間でした。これまで支えてもらった家族に恩返しをしたいと思っています。

町会支え合いソング
月見 de サンバ

春の知らせは 福寿草
丹精込めた パラの花
赤白黄色 園めぐり
一度はおいでよ 月見町

朝も早よから ナス・キュウリ
売る人買う人 なごやかに
ふれあい市場 輪をつくる
一度はおいでよ 月見町

ラララーラ ラララーラ
ラララーラ ラララーラ
ラララーラ ラララーラ
ビバー 月見町

ロータリーの 母子像
木の葉のおどり 舞う中を
夢を乗せて バスは行く
一度はおいでよ 月見町

コーヒーサロンの 昼下がりに
おしゃべり楽しい 公民館
ニコニコあいさつ ほがらかに
見守り安心 支え合う
一度はおいでよ 月見町

ラララーラ ラララーラ
ラララーラ ラララーラ
ビバー 月見町
くり返し(月見町一)

おい!

歌詞には、季節ごとの町内の景色や町民交流の様子が組まっています。

以前にも増して活発な活動が繰り広げられている中で、町会の歌も作りたいたいという声があがり、民生児童委員を中心とした音楽愛好家や町会役員の皆さんにより検討され、4月には歌詞ができあがりま

昨年、月見町に町会支え合いソング「月見 de サンバ」が誕生しました。平成26年に設立50周年を迎えた町会では公民館を全面改築し、公募によるシンボルマークも新たに制定しました。

「誰もがわくわくするよつな」と一新された曲は、覚えやすく自然に体が動きだすような軽快なサンバのリズム。町会では、子どもたちでも歌えるような機会と放送方法を検討中です。元氣印の町のシンボルソングとして未永く歌い継がれ、町会の絆がますます深まっていくことを願っています。

街かどの話題 139
町会歌の誕生

「月見町シンボルマーク」

月見町

月見町町会
南雲 多栄子

み込まれ、年々高齢化が進む中で皆が見守り支え合って暮らす温かな情景が、優しい言葉で綴られています。

作曲が困難で、当初は童謡「つさぎとかめ」の替え歌で町内連絡時に放送したり、盆踊りには民謡クラブの振付で皆で踊るなど親しまれてきました。興味で音楽活動をされている町会出身の中澤信明さんに作曲を依頼し、完成された歌が11月の文化祭でお披露目されました。

鎌田地区の歴史①

私たちが住む鎌田地区の歴史を紹介する新シリーズです

鎌田小へ里帰り 薬師寺東塔「縁の瓦」

えにし

募金を求めています。信濃教育会を介してそのことを知った各校が、有志による自主的な募金活動

鎌田小学校の高学年昇降口にあるガラスケースに、学校の宝として薬師寺東塔から里帰りした「縁の瓦」が展示されています。
奈良市にある国宝薬師寺東塔は、現在、110年ぶりの解体修理が進められています。平成24年の東塔の屋根工事の際に取り外された約3万3600枚の瓦の中から、墨や釘で名前の書かれた寄進銘瓦が4815枚発見されました。その中の345枚に、長野県内の小中高等学校308校の校名等が記されており、「松本 鎌田小学校」の瓦も2枚含まれていました。
鎌田小学校の昭和26年の学校日誌には、6月に2日間、国宝保存学徒募金の寄付を募ったこと。その後、全校集会で学校長から集計金額の報告がなされたこと等の記述が残っています。当時、奈良県国宝保存連盟が全国に募金を求めています。信濃教育会を介してそのことを知った各校が、有志による自主的な募金活動

町民参加のツットゴルフ大会を開催



11月25日、鎌田地区体育協会の主催による「第1回ツットゴルフ大会」が月見橋マレットゴルフ場で開催されました。町会対抗ではなく、初心者も大歓迎の個人戦で、約60人の参加者が和気あいあいとプレイを楽しみました。



凧揚げに子どもたちの歓声

12月9日、子ども会育成会の主催で「凧づくり講座」を開催しました。地区内の小学生25人が参加しましたが、講師の松本捷幸さん(両島)が「凧揚げは初めての人？」と聞くと、半数以上の子どもが手を挙げたので、びつくり！身近な材料を使った「夕

イヤ凧」を作りましたが、ポリシートにマジックで好きな絵を書き、骨組みを両面テープで貼り付け、最後に尾と凧糸を付けて出来上がり。近くの西部運動ひろばに移動して凧揚げをしましたが、初めての体験に子どもたちは歓声を上げて走り回りました。

「松本 鎌田小学校」の文字



を行ったのだそうです。昨年7月、信濃教育会館での「縁の瓦」里帰り式では、今回の修理で再使用されない126枚の校名瓦が各校長に返還されました。鎌田小学校の一枚も無事お役目を終えて戻ってきました。鎌田小学校では、この里帰りした「縁の瓦」について一ノ瀬校長から講話があり、全校で60余年前、子どもたちが寄付を持ち寄った時の思いに心を寄せました。また、再び薬師寺東塔の屋根に葺かれた「もう一枚の瓦」のことを伝えていくことについても思いをめぐらせました。薬師寺を訪れる際は、東塔の屋根を見上げて、鎌田の先達が文化財を大切にしたいと思いませんか？

冬の風物詩 三九郎



かつて「三九郎」は小正月の15日夜に行われていましたが、近年は成人式前の土曜・日曜に焼く町会が多く、今年も1月7日を中心に各町会の「三九郎」が夜空をこがしました。

子どもの頃正月に母の実家に行くといとこたちと福笑いやるたどり、羽根つきや凧揚げをして遊んだものだ。最近羽根つきや凧揚げをしていない。凧を揚げる場所もないのだが、松の内も過ぎると、小正月に三九郎が行われる。我が家では小正月の少し前から居間に、まゆ玉と紙でできた小判や鯛が付いている柳の枝が飾られていた。1月15日になるとその枝と書き初めを持って夜道を歩いて行く。三九郎で焼いたまゆ玉を食べると風邪をひかないと言われ、書き初めを焼くと字が上手になると言われている。▼私の父が子どもの頃は、骨組の木の切出しから組み立てまですべて子どもたちだけでやっていたそうだ。2つ3つくらい作り、大きな物の中には子どもが入れるようになっていて、松を集めて燃やすまでその中で餅を焼いて食べたり、花札で遊んだりしていたと聞いたことがある。▼少子化が進む今、地域の人たちの力を借りて時代にあったやり方で良いので、この先も三九郎が消えることなく伝承されてゆけばと願うものである。(小林 嘉美)

雑感